

平成 24 年度第 1 回 C C C 土木工学グループ運営委員会議事概要

- I. 日 時：平成 24 年 6 月 22 日 15 時 00 分から 17 時 00 分まで
II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会 事務局 会議室
III. 出席者：片田敏行委員、武田誠委員、北詰恵一委員（Skype）
（事務局）井端事務局長、森下主幹、野本職員

IV. 議事概要

1. 大学教育への提言報告書「未知の時代を切り拓く教育と ICT 活用」のとりまとめ

11 月総会に向け報告書 400 ページを作成。学士力、教育改善モデル、教員の教育力、情報を読み解く能力、情報リテラシー、情報活用能力をまとめる。1 部会 10 ページくらいとし、ガバナンスに向けて改善モデルを出して、現場から 5 年先の教育モデルを作り出す。新しい今日的な教育課題に関連したものになりたい。

2. 教育力作成に関する意見交換

- ・ これまではものづくりで行ってきたがそれが今日崩れてきている。日本はどのように対応するか先進国を相手にすることはできない。新興国をターゲットとする。新興国の文化、風土にあった「ものづくり」「システムづくり」を行う必要がある。
- ・ 将来の予測が難しい時代、今後は、考える力を身に付ける必要がある。高等教育の出口では、発展させる責務を持つ。資料 4 は答申となる。交付金などがメリハリをつける。
- ・ 米国は 1 学年で学ぶ科目は 5 科目、1 科目に時間をかけることができる。グループで行っている。日本は 11 科目、関連付けができていない。学習時間を重視する。このことを意識しない大学は、補助金を減らす。
- ・ 私立大学は、建学の精神を重視し、高度な学習をさせている大学、「環境、エネルギー、介護、雇用の創出」をしている大学、国際化に対応、留学生の受け入れ、日本の学生を国外に出している。地域社会の活性化、プロジェクト学習を行っている大学。例：町おこし＝学生教育、有機農法（エコ農法）を進めている。これらを意識している大学に、補助金を手厚くする制度になる。経営が成り立っていない大学には解散権をどんどん発行される。社会が満足するように、大学として組織的に活動する必要がある。
- ・ 学びをさせないといけない。制度設計の問題で質をともなった予習・復習が必要。
- ・ 大学の授業は個々の教員の責任に行われているが、組織的な授業を行う必要がある。
- ・ テニユアのやりかたでは、ポートフォリオ、教育の内容と改善を書く。どのような努力をしたかによってどうなったのかを書く。昇進に利用。
- ・ 大学教員の力は、発見の学識、統合の学識、応用の学識、教育の学識が必要。

3. 土木工学教員に期待される専門性について以下の意見から案を作成した。

- ・ 検討の流れ、まとめ方の方針として、①責任感、使命感、倫理観、②複眼的・総合的に探究、③社会との関連、社会貢献、④学生へのまなびの重要性、⑤ICT 活用として議論を進めた。
- ・ 責任感、使命感、倫理観の観点については、学識ではない教員としての資質や専門性として以下にまとめた。
 - ① 優れた自然環境・社会環境を次世代に伝えるために、社会基盤整備や地域の活性化、自然災害の防止に強い使命感と倫理観を有し、社会に貢献できる豊かな人間性を持つ専門家であること。
- ・ 複眼的・総合的に探究、社会との関連、社会貢献については、教えている内容でダブリがありシラバス調整は大学で組織的対応が必要とされ、特別にキャリア教育として科目を設ける必要はないのではないかなどの議論があり以下のようにまとめた。
 - ② グローバルな視野を有し、自然現象、社会活動、経済活動など多様な観点から、土木

工学を複眼的・統合的にとらえることができる。

- ③ 社会の要請に応えるに相応しい専門知識を有し、それらを応用して問題の解決に取り組むことができること。
- ・ 学生へまなびの重要性については、座学・グループワークを含めてバランスが必要で一人の先生が行う授業は大事で必要であり、グループで教員が取り組んでいることで、良い授業ができる、学生のための授業が必要などの意見から以下にまとめた。
 - ④ 他分野の専門領域や地域社会と連携し、協働して課題に取り組む姿勢を有していること。
 - ⑤ 土木工学の社会的意義を学生に気づかせ、興味・関心を持って、主体的に取り組ませられること。
- ・ ICT の活用については、システムを構築されたが利用する教員の資質が課題となる場合があるなどの意見から以下にまとめた。
 - ⑥ ICTなどの教育技法を駆使して、参加・実践・発信型の教育ができること。

V. 次回の開催日程

日時：平成 24 年 7 月 13 日 15 時 00 分から 17 時 00 分まで